

科目コード: 0100

科目名 1年 教養科目

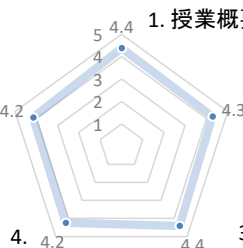
回答者数: 327 名

設問Ⅰ	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	186	92	41	3	5	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	172	92	51	4	8	4.3
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	199	80	38	3	7	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	171	87	55	6	8	4.2
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	154	94	65	3	11	4.2
総平均							4.3

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～

この授業を受講したことによって、5. この分野の学びを深めたいと思った。

質疑や課題に対するフィードバックがあった。



1. 授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。

2. 授業の説明は判りやすかった。

3. 授業に対する教員の熱意を感じた。

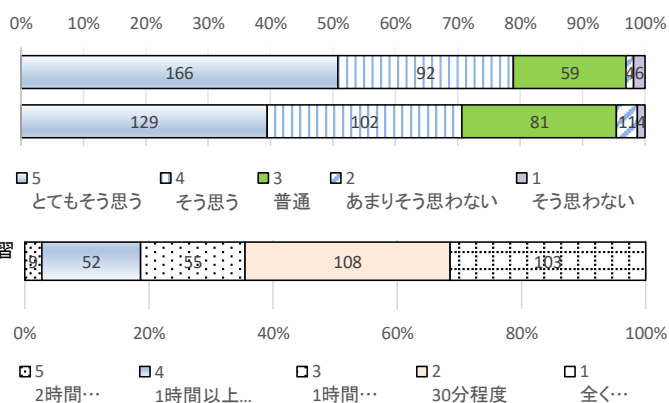
設問Ⅱ	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	166	92	59	4	6	4.2
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	129	102	81	11	4	4.0
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く してない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	9	52	55	108	103	2.3

2. 学習に対する自己評価について

あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。

議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。

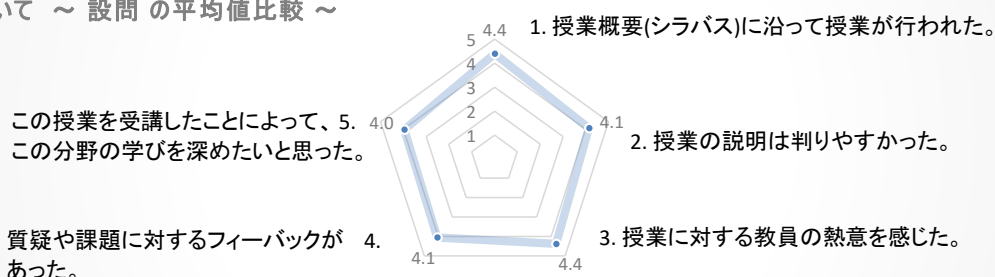
この授業一回につき、平均してどのくらい授業外学習(予習・復習)をしましたか。



学科・学年: 1年生 授業形態: 義・演習 担当者 大野博之(他)

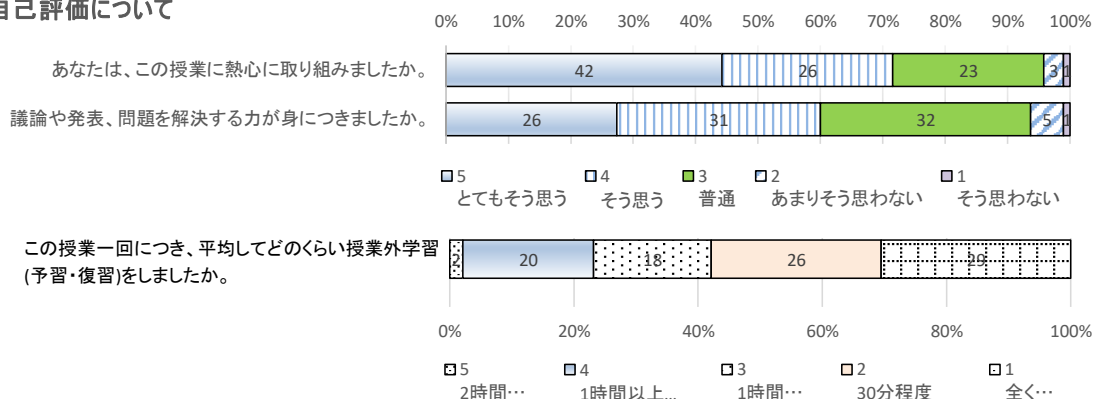
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	54	28	11	0	2	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	40	33	19	1	2	4.1
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	55	26	11	1	2	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	40	30	18	4	3	4.1
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	33	35	22	0	5	4.0
総平均							4.2

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	42	26	23	3	1	4.1
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	26	31	32	5	1	3.8
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く してない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	2	20	18	26	29	2.4

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

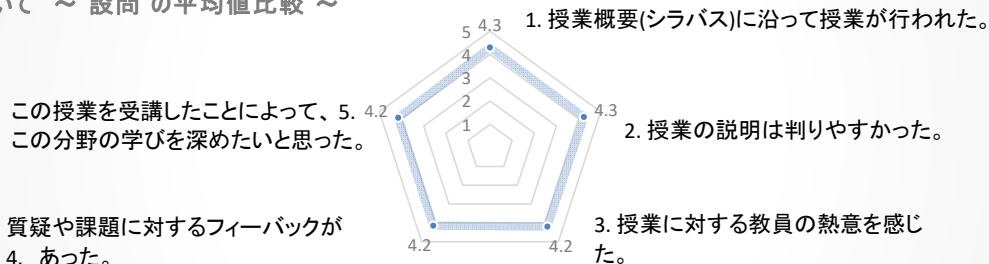
全8コマ開催とし、4つの授業到達目標を設定している。授業運営は、主に、卒業生やJICA/ユニセフ等からの外部講師を起用し、視野を広げることが目的とした上で、幅広い範囲で話を開けるようにした。授業内容は、海外の子どもたちの生活事情や、歴史・文化について、また、海外での生活に必要な英会話や生活習慣、及び、マナー等を学ぶ内容であった。アンケート集計結果は、全体の総平均は4.2と高い評価であり、全体的に満足と感ずることのできる結果となっている。その反面、設問1～5の全てにおいて、「そうは思わない」の回答が、少数ではあるがあったことは、今後、原因の分析、及び、改善をしていかなければならないと感じている。加えて、【学習に対する自己評価】の「授業に熱心に取り組みましたか」の問いに対し、これも少数ではあるが、「そうは思わない」と回答した学生が存在している。このことは、1人でもこのように思う学生がいなくなるように工夫・改善していく必要があると感じている。

②課題と展望(授業改善方策)

記述より、多くは満足と認識できる内容であったが、一部、「まとめのプリントが多すぎる」「紙で授業の資料がほしい」「国内の行先を増やしてほしい」などの記述があった。まずは、評価の総平均を4.5以上にすることを念頭に置き、授業内容のまとめ方の方法や、授業内で使用した資料(外部講師が多いため、配布できないケースもある)の学生への配布方法、及び、授業後の授業資料の公開方法等については、検討していく必要があると考えている。

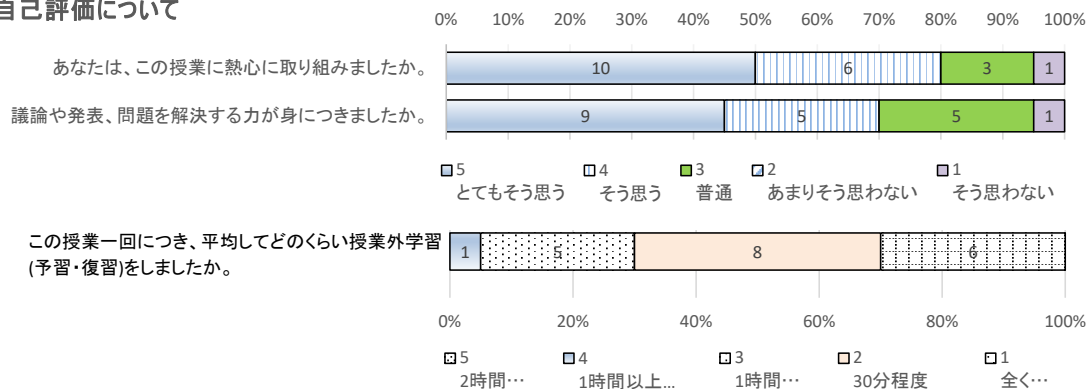
設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	11	6	2	0	1	4.3
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	11	5	3	0	1	4.3
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	10	6	3	0	1	4.2
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	10	5	4	0	1	4.2
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	11	3	5	0	1	4.2
総平均							4.2

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	10	6	3	0	1	4.2
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	9	5	5	0	1	4.1
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していません	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	1	5	8	6	2.1

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

アンケート回答者数が昨年度「59」に対して、今年度「20」というのは問題ではないだろうか。授業についての総平均は昨年度の「4.0」から今年度「4.2」と若干高くなっているが、これも授業に集中して取り組んだ「20」名の回答の結果だとすれば、回答しなかった学生の状況とは別物と言わざるを得ない。

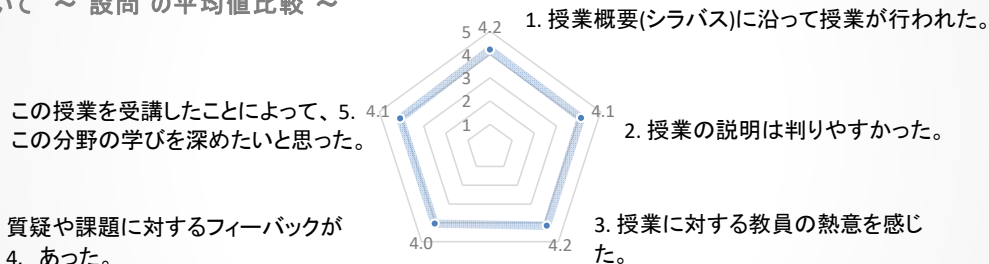
②課題と展望(授業改善方策)

各担任が、最後の授業展開の計画の中に「授業アンケート」をしっかり位置づけ、入力を見届ける必要がある。それを徹底しないと、キャリア教育だけの問題ではなく、ほかの科目の授業アンケートにも悪影響を及ぼす恐れがある。あるいは、ほかの科目の授業アンケートの入力状況が、キャリア教育にも影響しているとみるべきだろうか。いずれにしても学科全体として問題を共有して取り組む必要がある。

学科・学年: 健1年 授業形態: 義・演習 担当者 田中政巳(他)

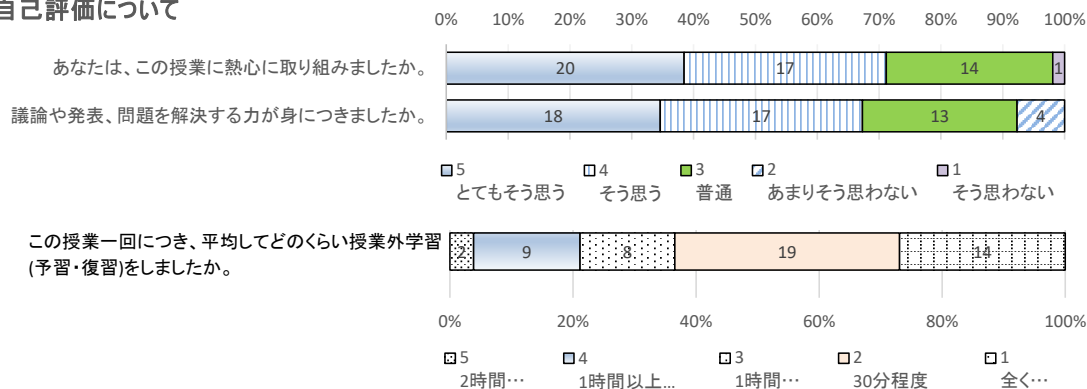
設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	27	10	14	1	0	4.2
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	23	15	12	1	1	4.1
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	25	13	12	1	1	4.2
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	23	11	16	1	1	4.0
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	22	14	14	1	1	4.1
総平均							4.1

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	20	17	14	0	1	4.1
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	18	17	13	4	0	3.9
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く してない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	2	9	8	19	14	2.3

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

本科目は、キャリア形成支援と就職活動支援を目的として、それぞれの授業ごとに独立したテーマと内容で実施してきた。学生からは就職活動に向けて理解が深まったとの評価があり、本科目の就職活動支援の目的は概ね達成できたのではないかとされる。今後、本科目の目的と内容を学生が自身のキャリア形成支援と就職活動をより結び付けて捉え、学びが深められるように授業内容や指導法の工夫・改善を図っていきたいと考える。

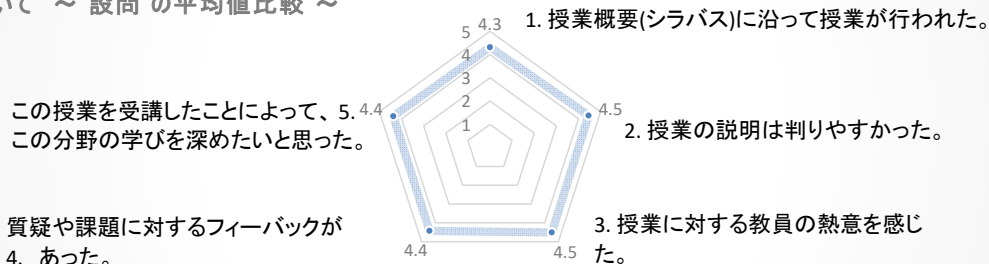
②課題と展望(授業改善方策)

キャリア教育の学びを1年次の早い時期から深めてもらうためにも、将来の職業人としての資質や能力の向上に繋げ、それを就職活動にも行かせるよう指導の工夫を図っていききたい。

一部ロールプレイも実施するので座席配置を工夫したい。

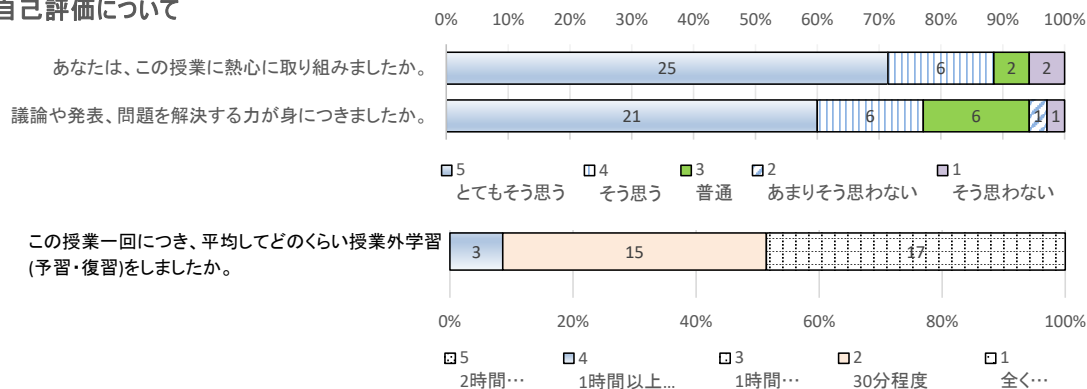
設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	20	9	4	1	1	4.3
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	24	7	2	0	2	4.5
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	26	5	2	0	2	4.5
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	24	6	3	0	2	4.4
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	23	6	4	0	2	4.4
総平均							4.4

1.授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	25	6	2	0	2	4.5
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	21	6	6	1	1	4.3
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	3	0	15	17	1.7

2.学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

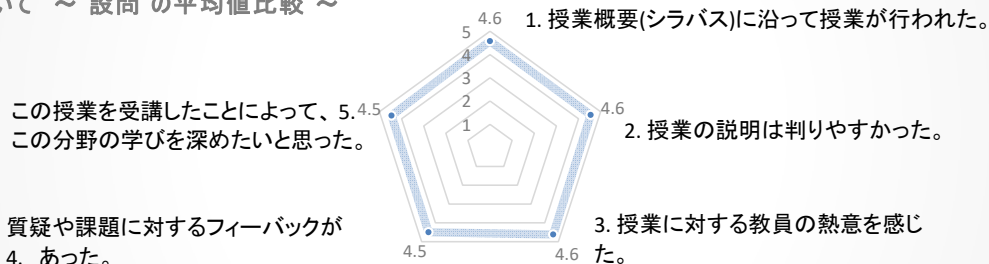
本授業の到達目標は、①「本授業で取り組むスポーツ各種の基本的なルールを理解して基本動作を修得し、ゲームを実践することができる。」、②「誰とでも良好な人間関係を構築しながら、チームパフォーマンスが高まる方法を考え、実行することができる。」、③「チームスポーツにおけるコミュニケーションについて説明できる。」であり、今年度はボッチャ、ポートボール、バレーボール、卓球、バドミントン等を行った。総平均は4.4であり、概ね高い評価と得た。学生はクラスメイトと協力して積極的に各スポーツに取り組んでいた。一方で、授業時間外学習の平均値は1.7と著しく低い結果となった。実技試験による評価がないことから、このような結果になったと推察する。今後は授業時間外学習の平均値が向上するような取り組みを検討したい。

②課題と展望(授業改善方策)

授業中、学生は積極的に各スポーツに取り組んでいる一方で、多くの学生が授業時間外学習に取り組んでいないことが分かった。この課題を解決するために、実技試験による評価を導入し、学生が練習できる場を設けたい。「履修者専用のTEAMS」を作成して、参考となる動画ULRも添付するなどして、各スポーツのゲームメイク、コミュニケーションの参考となるようにTEAMSの活用を充実させていきたい。

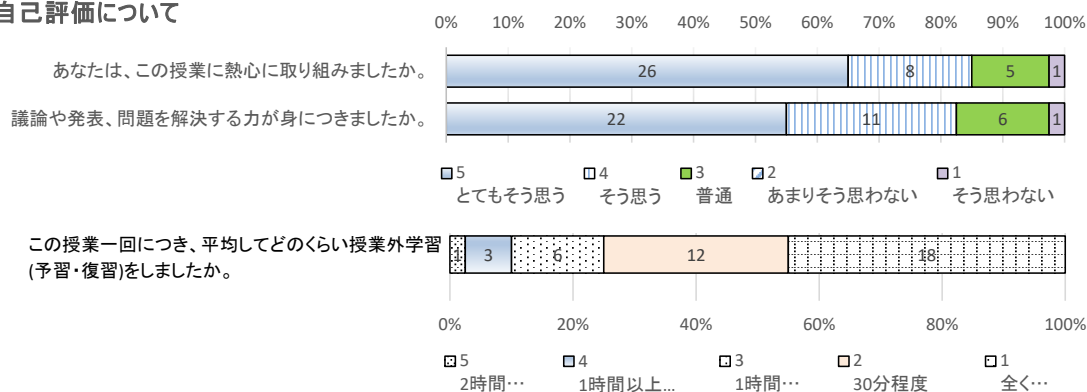
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	27	11	1	0	1	4.6
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	26	12	1	0	1	4.6
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	29	9	1	0	1	4.6
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	27	8	4	0	1	4.5
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	27	6	6	0	1	4.5
総平均							4.5

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	26	8	5	0	1	4.5
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	22	11	6	0	1	4.3
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	3	6	12	18	1.9

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

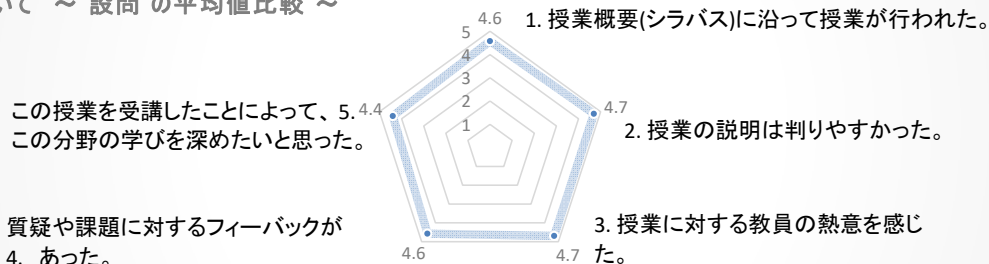
本授業は、「社会に貢献できる専門的な職業人になるために、本科目を通じて健康の維持・増進を目的とした運動の必要性を理解し、日常生活において実用できる。そして、運動処方について正しい知識を学び、日常的な運動を心がけ、健康的なライフスタイルについて説明できる。」ことを到達目標として授業を行った。学習内容は、若年女性の低体重問題、ダイエット、脂肪、有酸素運動、筋力トレーニング、ストレッチなどである。設問Ⅰの結果を見ると、最低値が4.5(「質疑や課題に対するフィードバックがあった」および、「この授業を受講したことによって、この分野を深めたいと思った」)であり、総平均が4.5であったことから、概ね高い評価を得たものと認識している。一方で、授業時間外学習の平均値は1.9と著しく低い結果となった。

②課題と展望(授業改善方策)

多くの学生が授業時間外学習に取り組んでいないことが分かった。これは、定期試験の結果にも反映されていた。学生は毎回の授業ごとに予習と復習をしておらず、最終授業後にまとめて勉強しているようであった。しかし、最終授業から定期試験当日までも期間が短く、十分に勉強できていないことが定期試験の結果に表れていた。この課題を解決するために「履修者専用のTEAMS」を作成して、授業時間外学習で取り組むべき内容を具体的に提示していきたい。あるいは、参考となる動画ULRも添付するなどして、講義で学んだことを日常生活でも実践できるように工夫したい。

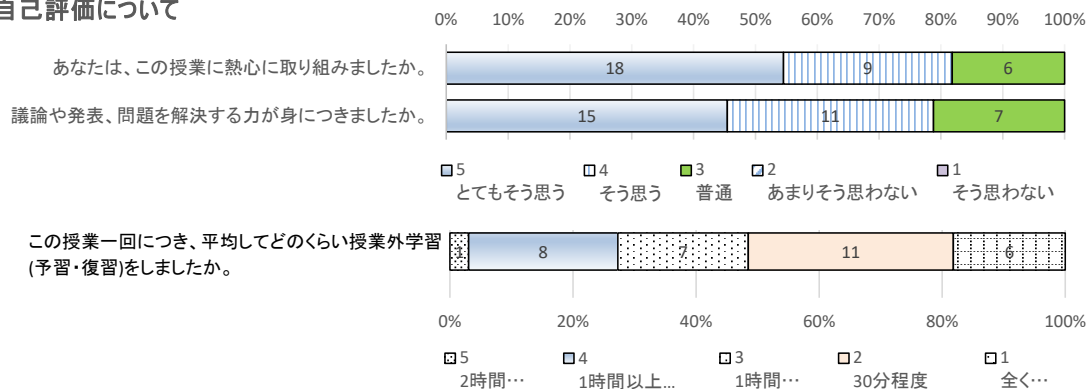
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	22	8	3	0	0	4.6
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	26	4	3	0	0	4.7
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	26	4	3	0	0	4.7
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	21	10	2	0	0	4.6
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	18	10	5	0	0	4.4
総平均							4.6

1.授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	18	9	6	0	0	4.4
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	15	11	7	0	0	4.2
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	8	7	11	6	2.6

2.学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

当該科目は、栄養教諭二種免許状取得のための必修科目であり、委託訓練生必修科目となっている。栄養士資格取得を基礎とし他者の健康な生活を支える者として、生涯にわたり健康的な生活を送るための視点を持つために、学生自身の体、運動、生活習慣に着目し、望ましい生活について考えていった。アンケートの結果をみると、「設問1.授業について」では、全項目において「とてもそう思う」と回答している割合が高くなっていた。「設問2.学習に対する自己評価について」では、「授業に熱心に取り組んだ」では82%が、「議論や発表、問題を解決する力が身についた」では45%が「とてもそう思う」と回答していた。加えて上記結果にはないが、自由記述欄に「考え方を変えたことで、スポーツの嫌いな私が運動の習慣化ができた」「周りに目を向け自分も健康でいようと思った」「体育もスポーツも運動も好きではなく、体を動かすことを座学で学ぶこと意味がないと思っていたが、自己の健康を考えずして他者の健康は語れないと思った」「栄養士として食と合わせて運動の伝達もしていく」などが記されていた。これらのことから、学生は本授業に意欲的に満足感をもって受講していることが窺えた。

②課題と展望(授業改善方策)

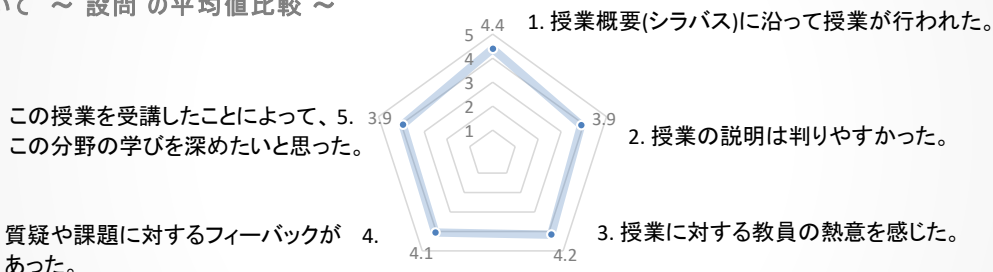
今後も学生が満足感をもって受講できるよう、そして、本授業が栄養士としての視点の一助となれるよう精進していきたい。

設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	9	7	2	0	0	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	4	10	2	2	0	3.9
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	7	8	2	1	0	4.2
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	6	8	3	1	0	4.1
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	6	8	2	1	1	3.9

総平均

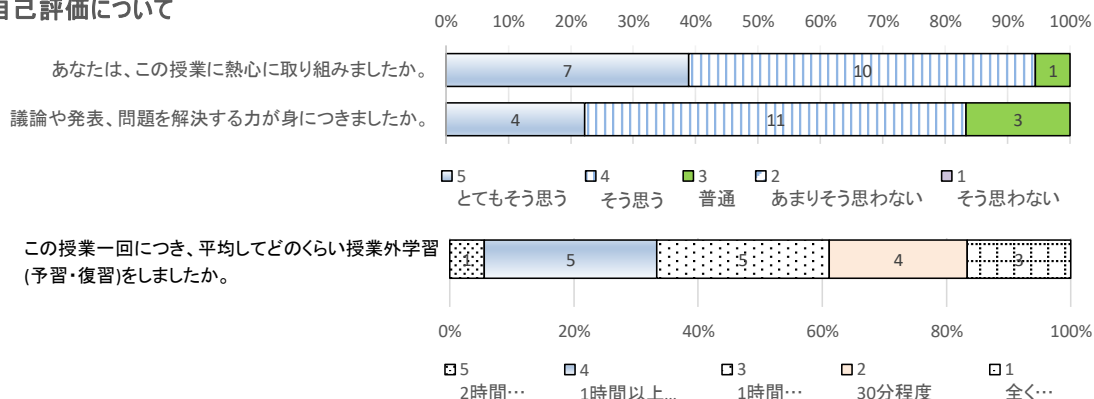
4.1

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	7	10	1	0	0	4.3
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	4	11	3	0	0	4.1
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	5	5	4	3	2.8

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

While the results of the evaluation are quite high, there is always room for improvement. Taken together, it seems the best course of action will be to continue offering feedback in as many forms as possible as frequently as I can.

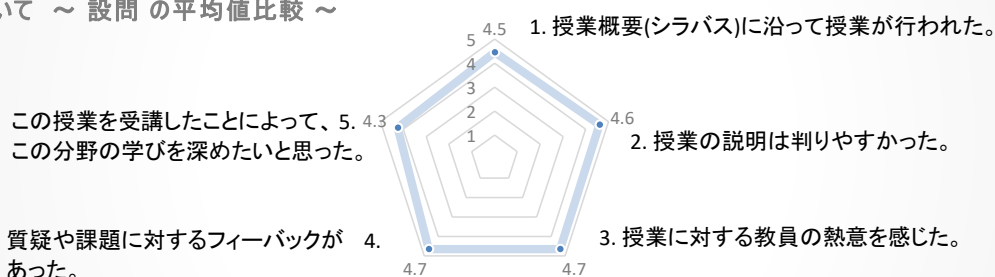
②課題と展望(授業改善方策)

Students seemed to have an ongoing reliance on the teacher to keep track of their grade, which suggests a disinvestment from the course and the materials. This doesn't bode well for attainment of the course's chief goal, which is to improve English fluency outside the classroom. The best way to address this is to create a paper that will assist students in keeping track of their assignments and grades. Once I achieve a higher outcome concerning test/homework/presentation turn ins, I can address further concerns.

設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	11	7	2	0	0	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	13	6	1	0	0	4.6
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	14	5	1	0	0	4.7
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	14	5	1	0	0	4.7
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	9	7	4	0	0	4.3

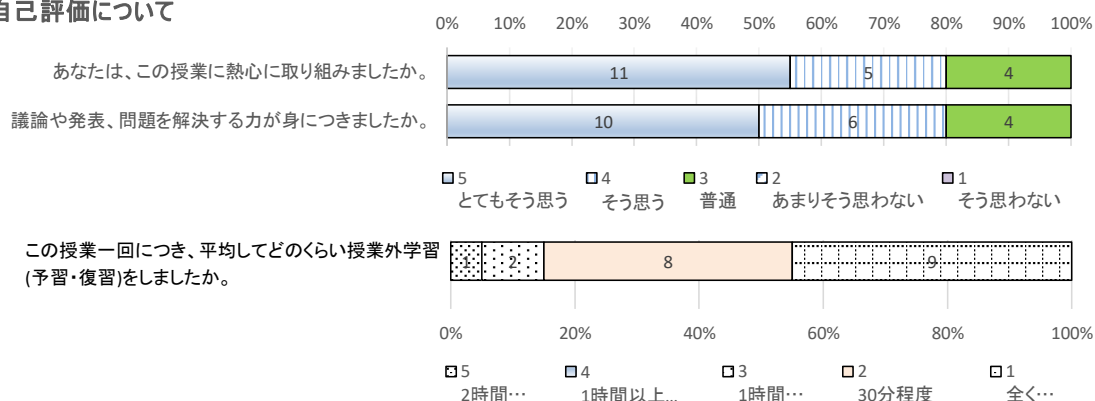
総平均 4.5

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	11	5	4	0	0	4.4
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	10	6	4	0	0	4.3
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	0	2	8	9	1.8

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

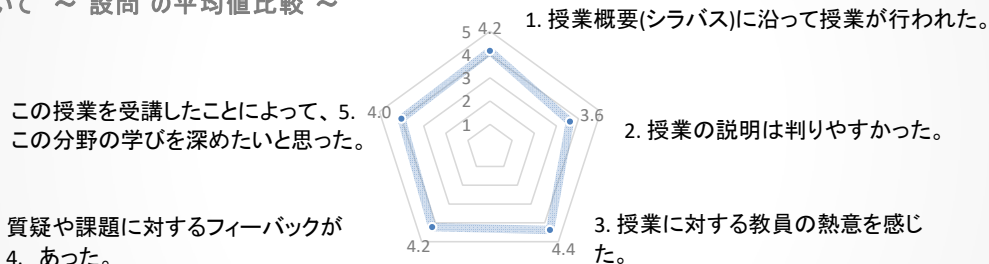
設問Ⅰ、Ⅱともに、「とてもそう思う」「そう思う」を選択した学生が多かった。多くの学生が授業に対して前向きに取り組んでいたと推察される。

②課題と展望(授業改善方策)

設問Ⅰの(5)「この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った」の評価が、(1)～(4)と比較して相対的に低かった。学生たちとの対話を通して学びの実態把握に努め、グループワークによりアクティブラーニングを活性化するとともに、ポートフォリオを活用して一人ひとりの学びに寄り添い、授業を受講したことによって興味や関心が継続し、学びを深めようとする態度を育てていく。

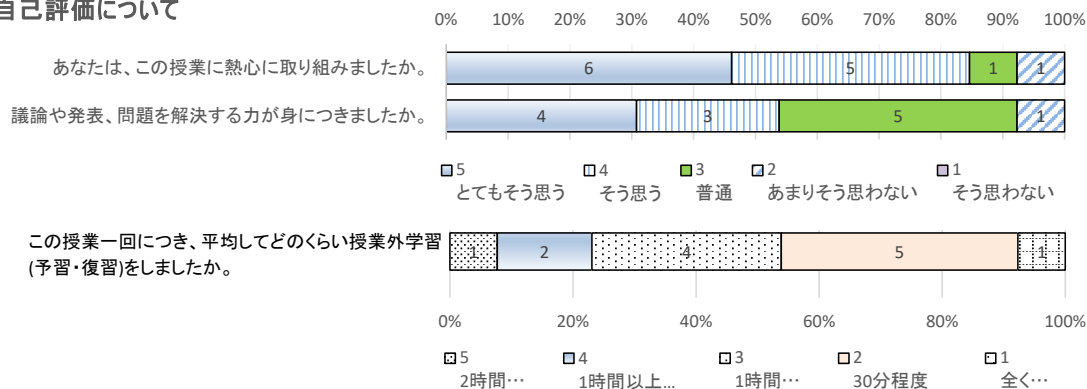
設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	5	6	1	1	0	4.2
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	5	0	7	0	1	3.6
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	7	4	2	0	0	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	6	4	3	0	0	4.2
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	5	4	3	1	0	4.0
総平均							4.1

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	6	5	1	1	0	4.2
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	4	3	5	1	0	3.8
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	2	4	5	1	2.8

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

学生のアンケートを見て、大半数以上の人がアンケート回答して、ありがとうございました。
休学の人を除く、学生たちはがんばって出席して、宿題を完成して、単位を取りました。
授業中の課題の説明をもっと丁寧に分かりやすくしましょう。

②課題と展望(授業改善方策)

- 最初の頃(拼音)から、宿題をもっと明確にし、発音を綺麗に出来るように努力する。
- 中期から自己紹介を重点に取り組みましょう。
- 中国語勉強のappソフトを利用して、教科書と併用し、授業する。

科目コード: 0200

科目名 2年 教養科目

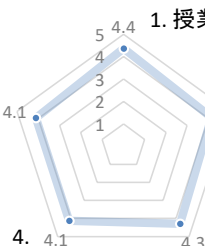
回答者数: 262 名

設問Ⅰ	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	135	88	39	0	0	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	114	82	56	8	2	4.1
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	129	83	47	3	0	4.3
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	115	78	61	6	2	4.1
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	103	90	65	3	1	4.1
総平均							4.2

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～

この授業を受講したことによって、5. この分野の学びを深めたいと思った。

質疑や課題に対するフィードバックがあった。



1. 授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。

2. 授業の説明は判りやすかった。

3. 授業に対する教員の熱意を感じた。

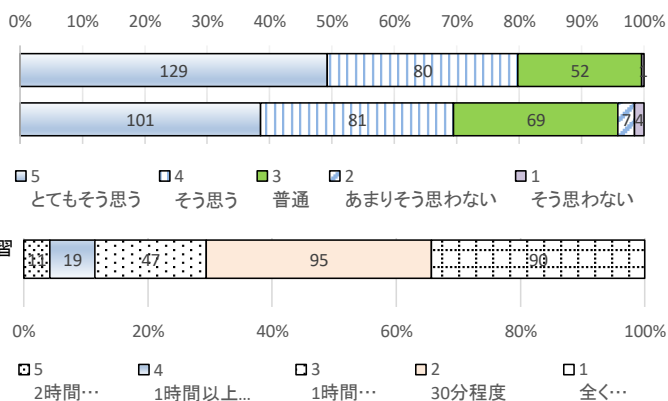
設問Ⅱ	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	129	80	52	0	1	4.3
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	101	81	69	7	4	4.0
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	11	19	47	95	90	2.1

2. 学習に対する自己評価について

あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。

議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。

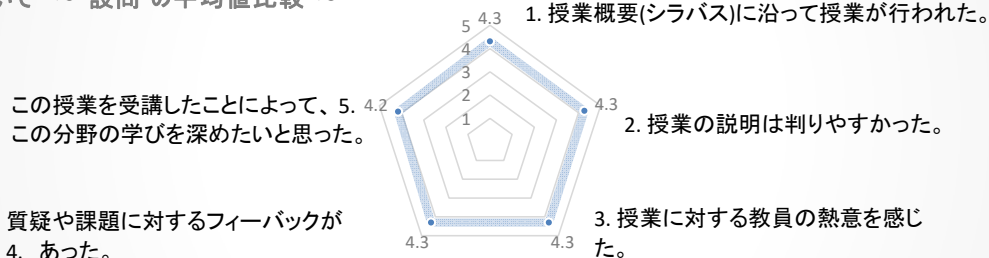
この授業一回につき、平均してどのくらい授業外学習(予習・復習)をしましたか。



学科・学年: 幼2年 授業形態: 義・演習 担当者 中村敏男(他)

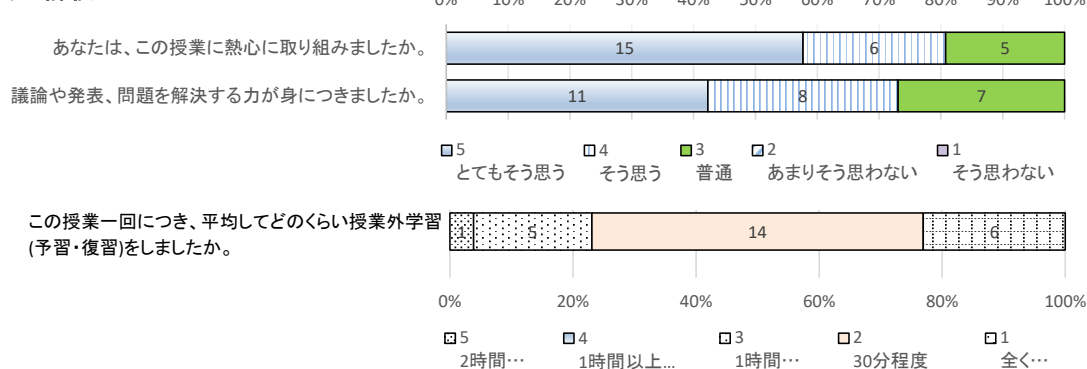
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	13	8	5	0	0	4.3
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	12	9	5	0	0	4.3
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	13	8	5	0	0	4.3
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	13	8	5	0	0	4.3
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	12	6	8	0	0	4.2
総平均							4.3

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	15	6	5	0	0	4.4
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	11	8	7	0	0	4.2
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	0	5	14	6	2.1

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

キャリア教育Ⅰについてもいえるが、回答数「26」というのは問題。2クラスのうち1クラスでは回答していないような状況があるのだろうか。これは昨年度も似たような傾向があり、昨年度のキャリア教育Ⅱの回答者数は「28」だった。授業に対する質問項目の総平均は昨年も今年もともに「4.3」で数字としては悪くはないが、その前提としての回答者数の少なさは平均数値の意味合いそのものが成立しないレベルの少なさではないだろうか。

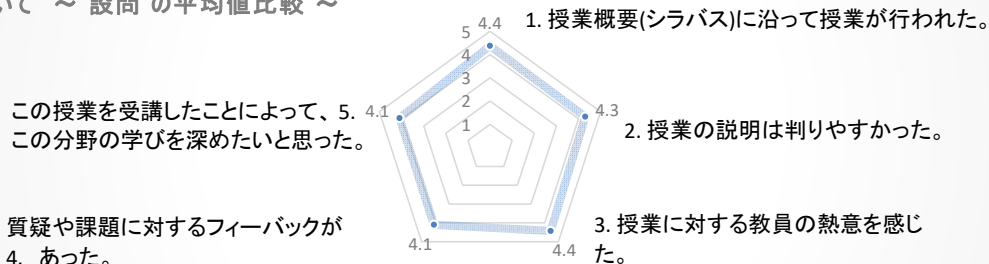
②課題と展望(授業改善方策)

各担任が、最後の授業展開の計画の中に「授業アンケート」をしっかり位置づけ、入力を見届ける必要がある。それを徹底しないと、キャリア教育だけの問題ではなく、ほかの科目の授業アンケートにも悪影響を及ぼす恐れがある。あるいは、ほかの科目の授業アンケートの入力状況が、キャリア教育にも影響しているとみるべきだろうか。いずれにしても学科全体として問題を共有して取り組む必要がある。

学科・学年: 健2年 授業形態: 義・演習 担当者 田中政巳(他)

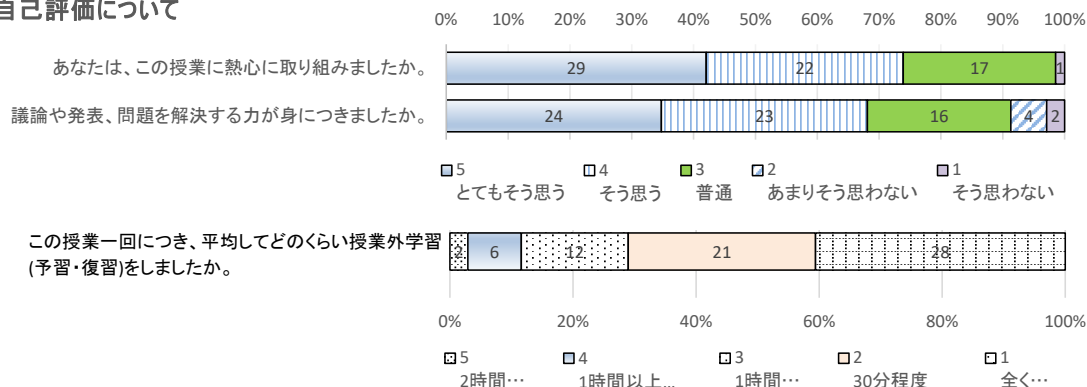
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	37	21	11	0	0	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	32	26	11	0	0	4.3
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	39	21	9	0	0	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	29	20	18	2	0	4.1
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	26	24	18	1	0	4.1
総平均							4.3

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	29	22	17	0	1	4.1
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	24	23	16	4	2	3.9
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	2	6	12	21	28	2.0

2. 学習に対する自己評価について



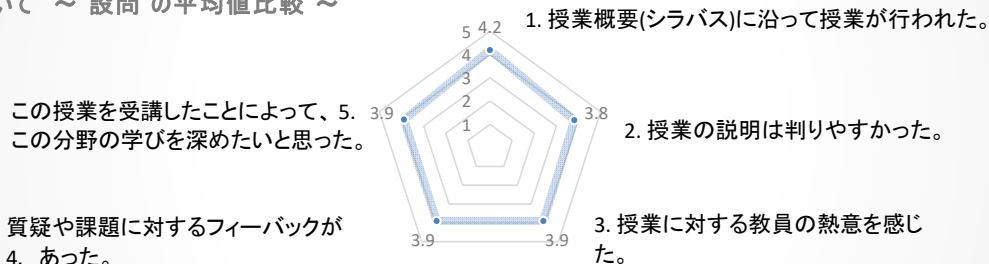
アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)
 本科目は、キャリア形成支援と就職活動支援を目的として、それぞれの授業ごとに独立したテーマと内容で実施してきた。学生からは「社会人として大切なことや人間として大切なことなど、生きていく上で大切なことを学ぶことができた」、「就職活動に向けて理解が深まった」との評価があり、本科目のキャリア形成支援と就職活動支援の目的は概ね達成できたのではないかとと思われる。今後、本科目の目的と内容を学生が自身のキャリア形成支援と就職活動をより結び付けて捉え、学びが深められるように授業内容や指導法の工夫・改善を図っていきたいと考える。社会人入学学生からの授業内容の評価は高かった。

②課題と展望(授業改善方策)
 「キャリア教育での学びを深め生かしたい」と感じられるように、学習内容の検討や指導法の工夫をさらに図っていききたい。

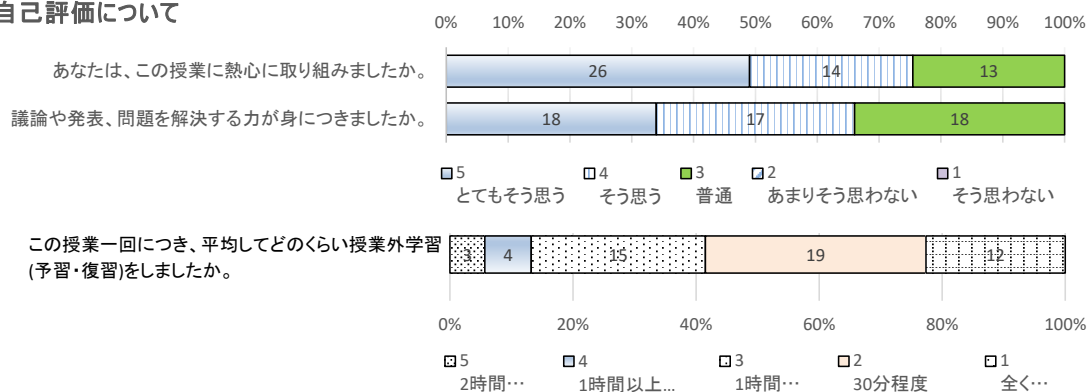
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	24	15	14	0	0	4.2
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	17	14	18	3	1	3.8
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	19	12	20	2	0	3.9
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	19	12	20	2	0	3.9
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	19	11	21	2	0	3.9
総平均							3.9

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	26	14	13	0	0	4.2
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	18	17	18	0	0	4.0
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	3	4	15	19	12	2.4

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

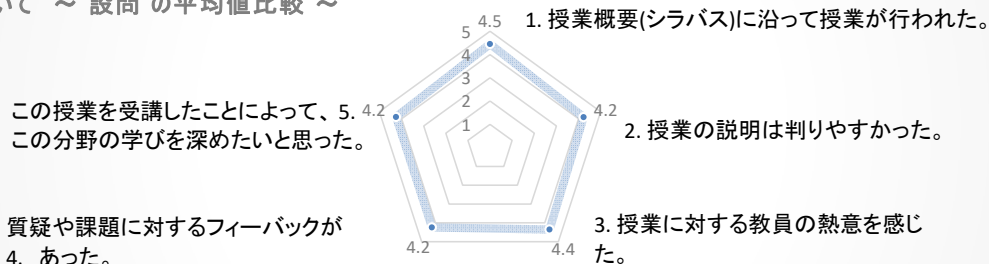
設問Ⅰでの総平均は3.9で昨年より0.3少なくなった。(1)から(5)のいずれも4.0を下回った。その中で、(1)「授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた」が4.2で一番高く、(2)「授業の説明は分かりやすかった」が3.8で一番低かった。設問Ⅱでは(3)「この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。」が昨年より0.2多くなった。評価が上がったのはこの項目のみであったが、授業外学習の必要性について何度も触れたことの効果かもしれない。

②課題と展望(授業改善方策)

全体的に昨年に比べて評価が下がったのが気になる。テキストをやり残しが出ないように取り組んだがその分、説明が早くなってしまったかもしれない。次年度はテキストすべては終われないかもしれないが、重点的に取り組むカ所とそうではない部分がある程度分け、時間をかける部分については全員の理解度が深まるよう取り組みたい。

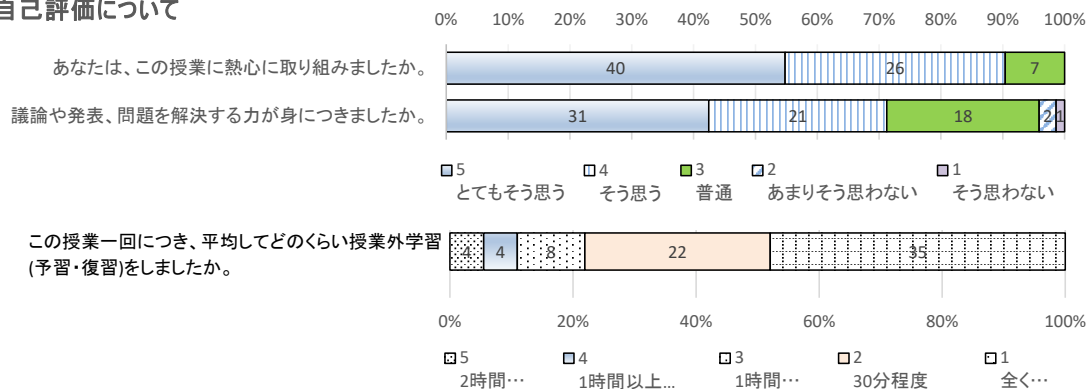
設問Ⅰ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	39	28	6	0	0	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	36	21	13	3	0	4.2
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	37	26	9	1	0	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	37	21	12	2	1	4.2
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	32	29	11	0	1	4.2
総平均							4.3

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	40	26	7	0	0	4.5
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	31	21	18	2	1	4.1
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	4	4	8	22	35	1.9

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

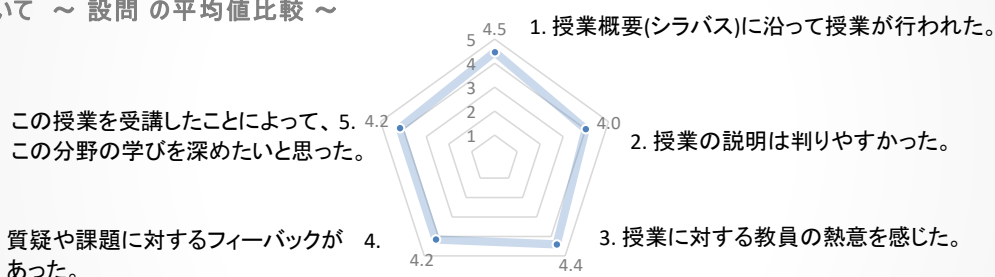
設問Ⅰの(5)が他の数値と比べ低く、設問Ⅱの(3)は著しく低い数値となっている。設問Ⅱの(1)から熱心に取り組んだ学生が多かったことを考えると、授業内で与えられた課題に対しては真摯に行っていたが、情報処理の分野に興味関心を持たせることが足りなかった可能性と、課題が予習・復習を必要とせず出来ている可能性が考えられる。

②課題と展望(授業改善方策)

新しい技能を覚えると実践しすぐに画面上で反映されるので興味関心を持たせやすい科目であると考えているが、アンケート結果に対する考察からその技能を今後どのような場面で応用していくかの理解を十分に与えられなかったと考える。同時に、課題を添削していると、そのテーマごとでは全体的に優秀であるが、それらを総合的に振り返る際には全体的に出来なくなる部分が多かったことから、目の前の課題をやり遂げるのみに注視させてしまった可能性も考えられる。この改善方策として、学生が目指す職種が行っている情報処理を研究し、それを想定した実習を取り入れ、身に着けた知識・技能をどのように活用するかを考え話し合う時間を設け、汎用的に解決できる能力の定着を図っていきたいと考える。

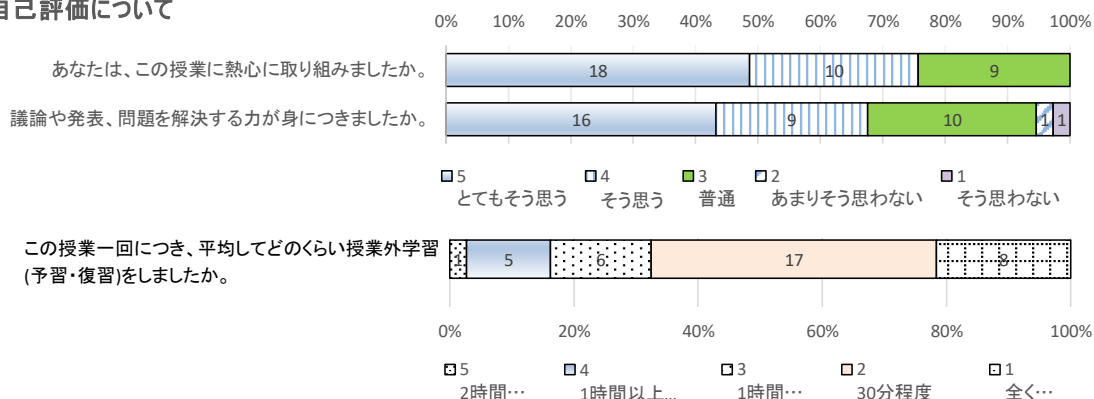
設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	20	14	3	0	0	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	15	11	8	2	1	4.0
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	19	14	4	0	0	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	15	15	6	0	1	4.2
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	13	17	7	0	0	4.2
総平均							4.2

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	18	10	9	0	0	4.2
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	16	9	10	1	1	4.0
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く してない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	5	6	17	8	2.3

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

授業の冒頭では、授業概要に関係するニュース等を扱い、学生が興味関心を持って学習に取り組めるよう工夫した。これにより学生の理解が進んだと考えられるが、「日本国憲法」という科目の性質上、説明が不十分な点もあったと思われる。

授業外学習時間は授業前後2時間ずつが標準とされているが、ほとんどの学生がこの時間に達していない。この点が学生の理解や学習態度に影響を与えた可能性がある。

②課題と展望(授業改善方策)

次年度以降は、教科書を指定する予定であるため、学生が授業の予習・復習をより積極的に取り組むことができると考えている。

授業(授業概要およびレジュメ)を教科書準拠で進めることにより、学生が教科書のどの部分を予習・復習すれば良いのか明確にすることが期待できる。学生の理解を促進するために、予習・復習を具体的に指示し、試験・レポート等でその成果を確認したい。

また、授業では引き続きニュース等を扱うことで、学習内容が現実社会においてどのような問題として顕在化しているのか、学生に問題を提起し、レポート等でそれを考え、表現する材料を提供していく。

さらに、学生が難解な学説や複雑な判例の内容を理解できるように、今後も板書を効果的に用いて、それらを図式化して説明していく。